



## 家庭訪問はお世話になりました。

4月末の家庭訪問では、大変お世話になりました。玄関先での短い訪問ではありましたが、保護者の皆さんと担任が直接お会いすることができ、本当に良かったと感じています。放課後の遊びや家庭での様子のお話を聞くことができ、学校では分からない部分がよく見えてとても参考になりました。ありがとうございました。

また、訪問時間が遅くなったり、病気欠席のため訪問を控えたことを連絡しなかったり等があり、大変申し訳ありませんでした。お仕事のご都合をつけていただいていたのに、大変ご迷惑をおかけしました。今後同じことがないように気を付けていきます。

子どもたちは、これからも学校と家庭と地域でたくさんの経験をしながら育っていきます。ですから、学校と家庭と地域とで力を合わせていくことが大切だと思います。学校も精一杯教育活動に取り組んでいきますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



## 溝上のつぶやき・・・No.1

初めて天領小学校にお子さんが入学された方は、この溝上のつぶやきは初めてですね。私が思っていることや感じていること、子育てや教育について素直に書かせていただくコーナーです。お付き合いしていただけると嬉しいです。

さて、今年のゴールデンウィークはいかがでしたが？子どもたちの笑顔を見ると、各家庭で楽しい時間を過ごせたのだろうと想像できました。また、欠席が少なかったのも、家庭での生活リズムを大切にいただいたと感じています。ありがとうございました。

私にとってのゴールデンウィークは、出かけると言うより日頃できない家の事に時間を使った休みでした。そして、私の里で子猫の虎治郎を保護した記念日でもありました。この虎治郎についても初めての保護者の方もいらっしゃいますよね。簡単に説明すると、里にある倉庫の壁の隙間に落ち込んでいた子猫を救出し、親猫に返すことができなかったので自宅で飼うことにした茶トラの猫のことです。家族会議で3日も悩んで付けた虎治郎という名前も、あまりの素行の悪さに「トラ！」としか呼ばれなくなった残念な虎治郎でもあります。

早いもので、我が家の家族になって1年が過ぎました。九死に一生を得た虎治郎は相変わらず元気です。何とかおとなしくならないかなあと願い続けて早一年。全くおとなしくなる気配はありません。持って生まれた性格ですね。世間では「元気があれば何でもできる！」とも言われていますので、病気で心配ばかりよりはいいかと悟りを開き始めている今日この頃です。だから、虎治郎の良いところを探すようにしました。学校でも子どもたちに「友だちの悪いところではなく、良いところを見つけよう。」と指導しているので、自分も実践しようと思った次第です。まずは、人懐こいところ。仕事から帰ると玄関まで来て、足にスリスリしてくれます。その後はダッシュでリビングに行きますが…。今までダッシュの方に気が向いていたのをスリスリでとどめることにしました。また、虎治郎が眠い時に限ってですが、顎の下を撫でてやるとグーッと顎を上げ、もっと撫でて欲しそうにします。この頃は、先住猫のレオンの毛繕いをする姿を見るようになりました。こうしてみると可愛く感じる気持ちが強くなってくるので、良い部分を見つけるって大切だなと実感します。「そうだよ、僕にだって良いところがたくさんあるんだよ。ちゃんと見てよ。」と虎治郎から思われたいよう、良いところをしっかりと見つけていきたいと思っています。